

エゼキエル

神が強くしてくださるの意味

エレミヤより20歳若い

エゼキエルがバビロニアに行った時にダニエルは高官であった。

2:2 その方が私に語りかけると、霊が私のうちに入り、私を自分の足で立たせた。そのとき、私は自分に語りかけることばを聞いた。

自分の足で立たせた=(RV) firma 固くさせた

2:4 彼らは厚かましく、頑なである。わたしはあなたを彼らに遣わす。あなたは彼らに『【神】である主はこう言われる』と言え。

3:11 さあ、捕囚になっているあなたの民のところへ行き、彼らに告げよ。彼らが聞いても、聞かなくても、『【神】である主はこう言われる』と彼らに言え。」

3:12 それから、霊が私を引き上げた。そのとき私は、うしろの方で、「【主】の栄光が御住まいでほめたたえられますように」という大きなとどろきを聞いた。

ほめたたえる=バラク◀ 1288. (𐤁𐤁𐤍)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

(NAS)(KJV)Blessed (改 4)ほめたたえる

3:17 「人の子よ。わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとした。あなたは、わたしの口からことばを聞き、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。

3:18 わたしが、悪い者に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼

に警告を与えず、悪い者に悪の道から離れて生きるように警告しないなら、その悪い者は自分の不義のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

3:19 もしあなたが悪い者に警告を与えても、彼がその悪と悪の道から立ち返ることがないなら、彼は自分の不義のゆえに死ななければならない。しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。

3:20 また、正しい人がその正しい行いをやめて不正を行うなら、わたしは彼の前につまずきを置く。彼は死ななければならない。あなたが彼に警告を与えなかったので、彼は自分の罪のゆえに死ぬ。彼が行った正しい行いは覚えられない。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

@正しい人が正しい行いをやめて=ペンサコーラリバイバルの鍵句

3:21 しかし、もしあなたがその正しい人に、罪を犯さないように警告を与え、彼が罪を犯さないようになれば、彼は警告を聞いたのであるから、彼は必ず生き、あなたも自分のいのちを救うことになる。」

4:6 あなたがこれらのことを終えたら、次に右脇を下にして身を横たえ、ユダの家の咎を四十日間、負わなければならない。わたしは 一年を一日としてあなたに課す。

@ (2ペテロ3:8)

4:12 あなたは大麦のパン菓子を食べよ。それを彼らの目の前で、人の糞で焼け。」

4:13 【主】は言われた。「このようにイスラエルの民は、わたしが追いやる国々

の中で、自分たちの汚れたパンを食べなければならない。」

4:14 そこで私は言った。「ああ、【神】、主よ。私は身を汚したことはありません。幼い時から今まで、死んだ動物や野獣にかみ裂かれたものを食べたことも、不浄な肉を口にすることもありません。」

4:15 すると、主は私に言われた。「では、人の糞の代わりに牛の糞でよい。あなたはその上で自分のパンを作れ。」

4:16 そして私に言われた。「人の子よ、見よ。わたしはエルサレムで、パンの蓄えをなくそうとしている。彼らは恐る恐る量ってパンを食べ、おびえながら水を量って飲む。」

5:2 その三分の一を、包囲の期間の終わるときに町の中で焼き、またもう三分の一を取って町の周りで剣で打ち、残りの三分の一を風に乗せて散らせ。わたしは剣を抜いてその後を追う。

@完全な破壊

5:4 その中からさらにいくらかを取って、火の中に投げ入れ、火で燃やせ。火がそこから出て、イスラエルの全家に燃え移る。」

@火にくべ＝（良い意味で）燃やされる

@残されたものが福音を伝える

8:8 この方は私に言われた。「人の子よ。さあ、壁に穴を開けて通り抜けよ。」私が壁に穴を開けて通り抜けると、一つの入り口があった。

8:16 それから、この方は私を【主】の宮の**内庭**に連れて行かれた。すると、

なんと、【主】の[神殿]の入り口、すなわち、玄関広間と祭壇との間に二十五人ばかりの人がいた。彼らは【主】の神殿に背を向け、顔を東の方に向けていた。東の方を向いて、太陽を拝んでいた。

内庭 = ◀ 2691. chatser (חצֵר) 189 回 ▶ 宿営(創世記 25:16) 庭(出 8:13 ファラオの宮殿の庭)、(出 27:9 幕屋の庭)

神殿 (改 2) 宮の本堂) = ◀ 1964. hekal (הֵקֵל) 80 回 ▶

拝んでいた = シャハー ◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) were prostrating (KJV) worshipped (INT) were prostrating (改 4) 拝んでいた

9:4 【主】は彼にこう言われた。「都の中、エルサレムの中を行き巡り、ここで行われているすべての忌み嫌うべきことを嘆き悲しんでいる人々の額に、しるしをつけよ。」

@とりなし手

@聖別を意味する

イザヤ 59:16 主は人がいないのを見て、とりなす者がいないことに啞然とされた。それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。

エゼキエル 22:30 この地を滅ぼすことがないように、わたしは、この地のために、わたしの前で石垣を築き、破れ口に立つ者を彼らの間に探し求めたが、見つからなかった。

10:5 そのとき、ケルビムの翼の音が外庭にまで聞こえた。それは、全能の神

が語られるときの声のようであった。

@エル・シャダイ

11:19 わたしは彼らに一つの心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を与える。
わたしは彼らのからだから石の心を取り除き、彼らに肉の心を与える。

12:3 人の子よ。あなたは捕囚のための荷物を整え、彼らが見ている前で、昼のうちに移れ。彼らの見ている前で、今いる場所からほかの場所へ移れ。もしかしたら、彼らに自分たちが反逆の家であることが分かるかもしれない。

@ (2 回目の) 移れ = (共) 捕らわれの身となって行きなさい。

移れ = ◀ 1540. galah 185 回 ▶ むき出しにする、現れる、取り除く、移る
(ノアが)裸になった(Ge9:21)、(神が)現れた(Ge35:7)、

12:4 あなたは、昼のうちに彼らが見ている前で、自分の荷物を捕囚のときの荷物のようにして持ち出せ。そして、捕囚に行く人々のように、彼らの見ている前で夕方出て行け。

12:7 そこで、私は命じられたとおりにした。自分の荷物を捕囚のときの荷物のようにして昼のうちに持ち出し、夕方、自分の手で壁に穴を開け、彼らの見ている前で、暗いうちに荷物を背負って出て行った。

12:27 「人の子よ。今、イスラエルの家は言っている。『彼が見ている 幻はざっと後のことについてであり、はるか遠い将来について預言しているのだ。』

幻 = ◀(N) 2377. chazon 35 回 ▶ 幻

原型の動詞は = ◀ 2372. chazah 51 回 ▶ 見る (啓示的な意味で見る)

Ex18:21 あなたはまた、民全体の中から、神を恐れる、力のある人たち、不正の利を憎む誠実な人たちを見つけ、千人の長、百人の長、

五十人の長、十人の長として民の上に立てなさい。

預言する = ◀ 5012. naba 114 回 ▶ 預言する。

名詞形は ◀ 5030. nabi 316 回 ▶ 預言者

@ 「見ている・・・預言している」すなわち、預言とは見ること

13:3 【神】である主はこう言われる。 **わざわいた**。自分で何も見ないのに、自分の霊に従う愚かな預言者ども。

13:20 それゆえ、【神】である主はこう言われる。見よ。あなたがたが、鳥を捕るように人々のたましいを罠にかけた、呪いのひもにわたしは敵対する。それらをあなたがたの腕からもぎ取り、あなたがたが鳥を捕るように罠にかけたたましいを、わたしは解き放つ。

◀ 3704. keseth 2 回 ▶

@のろいのひも = 人の魂を縛るもの

@ベール = 人の目をくらますもの

13:21 わたしはあなたがたのベールをはがし、わたしの民をあなたがたの手から救い出す。罠にかかった者たちは、もうあなたがたの手のうちにはいなくなる。そのときあなたは、わたしが【主】であることを知る。

13:22 あなたがたは、わたしが悲しませなかったのに、正しい人の心を偽りで悲しませた。悪しき者を力づけ、彼が悪の道から立ち返って生きることがないようにした。

13:23 それゆえ、あなたがたは、もう、むなしい幻を見ることができず、占いもできなくなる。わたしは、わたしの民をあなたがたの手から救い出す。そのときあなたは、わたしが【主】であることを知る。』

14:1 イスラエルの長老たちの何人かが来て、私の前に座った。

14:2 そのとき、私に次のような【主】のことばがあった。

14:3 「人の子よ。これらの者たちは自分たちの偶像を心の中に秘め、自分たちを不義に引き込むものを、顔の前に置いている。わたしは、どうして彼らに応じられるだろうか。

14:4 それゆえ、彼らに告げて、こう言え。『【神】である主はこう言われる。心の中に偶像を秘めて、不義に引き込むものを自分の顔の前に置きながら、預言者のところに来るすべてのイスラエルの家の者には、その偶像の多さに応じて、【主】であるわたしが答える。

その偶像の多さに応じて=(改 2)その多くの偶像に応じて

=ますます惑わされる (エゼキ 14 : 9)

14:9 もし預言者が惑わされてことばを語るなら、【主】であるわたしがその預言者を惑わしたのである。わたしはその者に手を伸ばして、わたしの民イスラエルのうちから根絶やしにする。

14:14 たとえ、そこにノアとダニエルとヨブの、これら三人の者がいても、彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ——【神】である主のことば——。

14:20 たとえ、そこにノアとダニエルとヨブがいても——わたしは生きている。【神】である主のことば——彼らは決して息子も娘も救い出すことはできない。彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ。」

@ 3人のとりなし人

ノア=全世界のとりなし

ダニエル=国のとりなし

ヨブ=友人のとりなし

14:21 まことに、【神】である主はこう言われる。「人や家畜を絶ち滅ぼすために、わたしが剣と飢饉と悪い獣と疫病の、四つのひどい刑罰をエルサレムに送るとき、

14:22 見よ。そこに逃れの者が残っていて、息子や娘たちを連れ出し、あなたがたのところに来て来る。あなたがたは彼らの生き方と行いを見て、わたしがエルサレムにもたらしたわざわいと、わたしがそこにもたらしたことすべてについて、慰めを受ける。

@ノア、ダニエル、ヨブですら救うことができなかつたにもかかわらず、残されたのがれた者によって救いがもたらされる。

16:3 『【神】である主はエルサレムについてこう言われる。あなたの出身、あなたの生まれはカナン人の地、あなたの父はアモリ人、あなたの母はヒッタイト人であった。

@エルサレムは元異教徒の町だった

16:8 わたしがそばを通りかかってあなたを見ると、ちょうど、あなたは恋をする年ごろになっていた。わたしは衣の裾をあなたの上に広げ、あなたの裸をおおった。わたしはあなたに誓って、あなたと契りを結んだ——【神】である主のことば——。そして、あなたはわたしのものとなった。

@契りを結んだ=契約の血（処女の血）

16:11 それから、わたしは飾り物であなたを飾り、腕には腕輪をはめ、首には首飾りをかけ、

、
@ダビデ、ソロモンの栄華

16:18 あなたはまた、あや織りの衣を取って、それらの像をおおい、わたしの油と、わたしの香をその前に供えた。

@主に捧げるべきものすら偶像に捧げた

16:19 あなたは、わたしが与えたわたしのパンや、あなたに食べさせた上等の小麦粉や、油や蜜までも、その前に供えて芳ばしい香りとした。そうではなかったか——【神】である主のことば——。

16:20 あなたはまた、わたしのために産んだ自分の息子や娘たちを取り、それらの像にいけにえとして献げて食べさせた。これでもまだ、あなたは姦淫が十分ではないかのように、

16:21 わたしの子どもたちを殺し、これを焼いて、ささげ物とした。

16:22 あらゆる忌み嫌うべきことや姦淫をしているとき、あなたは、かつて自分が丸裸のまま、血の中でもがいていた若いころのことを思い出さなかった。

16:23 あなたはこのすべての悪行の後で——ああ、何ということか。【神】である主のことば——

16:24 どの広場にも自分のために祭儀台を設け、高台を造り、

16:25 道のどの分かれ目にも高台を築き、通りかかるすべての人に身を任せ、姦淫を重ねて、自分の美しさを汚した。

16:33 すべて遊女には代価が支払われるのに、あなたは自分のほうから愛人たちすべてに持参金を与え、贈り物もして、四方からあなたのところに来てさせて姦淫をした。

@何の得にもならず損をする。

愛人たち=愛人たち=me ahaba yik(מאהביך)= ◀ 157. aheb 209 回▶愛。へ
ブライ語に愛と恋の違いはない。

16:36 【神】である主はこう言われる。あなたは愛人たちや忌み嫌うべき偶像
と姦淫をして、自分の恥ずかしいところを見せ、自分の裸をあらわにし、それ
らに自分の子を献げて血を流したのだ。

愛人たち=me ahaba yik(מאהביך)= ◀ 157. aheb 209 回▶愛。へブライ語に
愛と恋の違いはない。

@「愛人、恋をする」という言葉は聖書の中で多くは偶像礼拝に関係がありま
す。

16:49 だが、あなたの妹ソドムの咎はこのようだった。彼女とその娘たちは高
慢で、飽食で、安逸を貪り、乏しい人や貧しい人に援助をしなかった。

エゼ 16:52 あなたも、あなたの姉妹たちをかばった恥辱を負え。あなたが彼
女たちよりも忌み嫌うべきことをして、罪が重かったため、彼女たちはあなた
よりも正しいとされた。あなたも恥じて、あなたの姉妹たちを正しいとした恥
辱を負え。

かばった=◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回▶(V)干渉する、とりなしする、祈る

18:4 見よ、すべてのたましいは、わたしのもの。父のたましいも子のたまし
いも、わたしのもの。罪を犯したたましいが死ぬ。

18:5 人が正しい者であるなら、公正と義を行う。

18:6 丘の上で食事をせず、イスラエルの家の偶像を仰ぎ見ず、隣人の妻を汚さず、月のさわりのある女に近寄らず、

月のさわり = ◀ 5079.(גדה) niddah 29 回 ▶ (גדה) (אשה) a woman during her impurity

@さわり = 月経

18:17 貧しい者を苦しめることから手を引き、利息や高利を取らず、わたしの定めを行い、わたしの掟に従って歩むなら、そのような人は自分の父の咎のゆえに死ぬことはなく、必ず生きる。

18:18 彼の父は虐げを行い、兄弟の物をかすめ取り、良くないことを自分の民の中で行ったのだから、確かに自分の咎のゆえに死ぬ。

18:19 あなたがたは『なぜ、その子は父の咎を負わなくてよいのか』と言う。その子は、公正と義を行い、わたしのすべての掟を守り行ったのだから、必ず生きる。

18:20 罪を犯したたましいが死ぬのであり、子は父の咎について負い目がなく、父も子の咎について負い目がない。正しい人の義はその人の上にあり、悪しき者の悪はその者の上にある。

18:21 しかし、悪しき者でも、自分が犯したすべての罪から立ち返り、わたしのすべての掟を守り、公正と義を行うなら、その人は必ず生きる。死ぬことはない。

18:24 しかし、正しい人が正しい行いから離れ、不正を行い、悪しき者がするようなあらゆる忌み嫌うべきことをするなら、彼は生きるだろうか。彼が行ったどの正しいことも覚えられず、彼が犯した不信と陥った罪のゆえに、彼は死ななければならない。

@ (18 : 26, 27)

18:26 正しい人が自分の正しい行いから離れ、不正を行うなら、彼はそれゆえに死ぬ。自分が行った不正によって死ぬ。

18:27 しかし、悪しき者でも、自分がしている悪事から立ち返り、公正と義を行うなら、彼は自分のたましいを生かす。

20:3 「人の子よ、イスラエルの長老たちにこう告げよ。『【神】である主はこう言われる。あなたがたが来たのは、わたしに尋ねるためなのか。わたしは生きている。わたしは決してあなたがたの求めに応じない——【神】である主のことば。』

尋ねるためなのか=(改 2)願いを聞いてもらうためなのか。 = (共) わたしの意志を問うためなのか

「願いを聞いてもらうためなのか」という訳のほうに臨場感があるが、間違いのようだ。

尋ねる = ◀ 1875. darash 164 回 ▶ Definition: to resort to, seek

(血の値を)要求する(Ge9:5) (主のみこころを求め(Ge25:22)、探し求める(申 4:29)

20:32 あなたがたが、「私たちは、木や石を拝んでいる異邦の民、国々の諸族のようになろう」と言っている、その霊の思いは決して実現しない。

20:33 わたしは生きている——【神】である主のことば——。わたしは必ず、力強い手と伸ばした腕、ほとぼしる憤りをもって、あなたがたを治める。

20:34 わたしは、力強い手と伸ばした腕、ほとぼしる憤りをもって、あなたがたを諸国の民の中から導き出し、その散らされている国々からあなたがたを集める。

憤り = ◀ 2534. Chemah (חָמָה) 122 回 ▶ 熱、怒り

熱という意味だが、原形の動詞には身ごもる、さかりがつくという意味がある。

原型の動詞は ◀ 3179. yacham (יָחַם) 10 回 ▶ (V) 熱い、身ごもる、交尾する(創世記 30:39)

さかりがつく(創世記 30:41)

◀ 2552. chamam (חָמַם) 13 回 ▶ (V) 暖かい、暖くなる

@終末時の第一の帰還(1948年)は、神の怒りによる

エゼキエル 22:20 銀、青銅、鉄、鉛、すずが炉の中に集められるのは、火を吹きつけて溶かすためだ。そのように、わたしは怒りと憤りをもってあなたがたを集め、そこに入れて溶かす。

20:35 わたしはあなたがたを国々の民の荒野に連れて行き、そこで顔と顔を合わせて、あなたがたをさばく。

20:36 わたしは、あなたがたの先祖をエジプトの地の荒野でさばいたように、あなたがたをさばく——【神】である主のことば——。

@それはさばきのためである。

20:38 あなたがたの中から、わたしに背く反逆者をより分ける。わたしは彼ら
をその寄留している地から導き出すが、彼らはイスラエルの地に入ることはできない。そのときあなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

20:39 さあ、イスラエルの家よ、【神】である主はこう言われる。それぞれ自分の偶像のところに行って仕えるがよい。後には必ず、あなたがたはわたしに聞くようになる。あなたがたは二度と、自分たちのささげ物や偶像で、わた

しの聖なる名を汚さなくなる。

偶像＝シオニズム

20:43 あなたがたはそこで、自分の身を汚した自分たちの生き方と、すべての行いを思い起こし、自分たちの行ったすべての悪のゆえに、自分自身を嫌うようになる。

@自分が嫌いなユダヤ人が多い

20:44 わたしが、あなたがたの悪しき生き方や、腐敗した行いによってでなく、ただわたしの名のためにあなたがたに報いるとき、イスラエルの家よ、あなたがたはわたしが【主】であることを知る——【神】である主のことば。』

エゼ 20:47 ネゲブの森に言え。『【主】のことばを聞け。【神】である主はこう言われる。見よ、わたしはおまえのうちに火をつける。その火はおまえのうちの、すべての生木とすべての枯れ木を焼き尽くす。その燃える炎は消されず、南から北まで地の面すべてが焼かれる。

エゼ 22:1 次のような【主】のことばが私にあった。

- 裁きの宣告

22:7 おまえの中で父や母は軽んじられ、おまえのただ中で寄留者は抑圧され、おまえの中にいるみなしごややもめは虐げられている。

22:18 「人の子よ、イスラエルの家はわたしにとって金かすとなった。彼らはみな、炉の中の青銅、すず、鉄、鉛であり、銀の金かすとなった。」

22:19 それゆえ、【神】である主はこう言われる。「あなたがたはみな金かすと

なつたから、今、わたしはあなたがたをエルサレムの中に集める。

22:20 銀、青銅、鉄、鉛、すずが炉の中に集められるのは、火を吹きつけて溶かすためだ。そのように、わたしは怒りと憤りをもってあなたがたを集め、そこに入れて溶かす。

エゼキエル 20:34 わたしは、力強い手と伸ばした腕、ほとぼしる憤りをもって、あなたがたを諸国の民の中から導き出し、その散らされている国々からあなたがたを集める。

22:21 わたしがあなたがたを集め、あなたがたに向かって激しい怒りの火を吹きつけると、あなたがたは町の中で溶ける。

22:22 銀が炉の中で溶かされるように、あなたがたも町の中で溶かされる。このとき、あなたがたは、【主】であるわたしがあなたがたの上に憤りを注いだことを知る。」

22:25 そのただ中には預言者たちの陰謀がある。彼らは、獲物をかみ裂きながら吼えたける雄獅子のように人々を食らい、富と宝を奪い取り、その町にやもめの数を増やした。

22:27 その町の高官たちは、獲物をかみ裂く狼のようだ。人々の血を流し、たましいを滅ぼして、自分の利得を貪っている。

22:28 その町の預言者たちはむなしい幻を見、まやかしの占いをして、漆喰で上塗りをし、【主】が語っていないのに「【神】である主はこう言われる」と言っている。

22:30 この地を滅ぼすことがないように、わたしは、この地のために、わたしの前で石垣を築き、破れ口に立つ者を彼らの間に探し求めたが、見つからなかった。

@とりなし手==額にしるしを持つもの

エゼキエル 9:4 【主】は彼にこう言われた。「都の中、エルサレムの中を行き巡り、ここで行われているすべての忌み嫌うべきことを嘆き悲しんでいる人々の額に、しるしをつけよ。」

22:31 それで、わたしは彼らの上に激しい憤りを注ぎ、激しい怒りの火で彼らを滅ぼし尽くし、彼らの頭上に彼らの生き方を返した——【神】である主のことば。』

@とりなしの要請

イザヤ 59:16 主は人がいないのを見て、とりなす者がいないことに啞然とされた。それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。

@とりなしはただ一人でもいれば有効なのに（創世記 18 : 17）ひとりも見出せなかった。

@その結果としてクリスチャンの上に災いが振りかかる。

彼らの頭上=クリスチャンの 彼らの行い=悪人

エゼ 23:9 それでわたしは、彼女が欲情を抱く愛人たちの手、アッシリア人の手に彼女を渡した。

愛人たちは=(מְאַהֲבֵיהָ)

26:1 第十一年の、その月の一日、私に次のような【主】のことばがあった。

26:2 「人の子よ。ツロはエルサレムについて、『あはは。国々の民の門は壊

され、私に明け渡された。私は豊かになり、エルサレムは廃墟となった』と言った。

26:17 彼らはおまえについて哀歌を唱えて言う。海に住む者よ、おまえはどうして海から消え失せたのか。その町と住民は海で最も強く、ほめそやされた町であったのに。その町の住民すべてに、恐怖がもたらされた。

@海＝経済活動

@商品とは金銀（黙示 18 : 12） 全ての船長水夫（黙示 18 : 17）

ほめはやされた＝ハラル◀ 1984. halal (لال)165回▶(源)輝く（訳出では「賛美、誇る、気が狂う」）

(NAS) (KJV): renowned

27:4 おまえの領土は海の真ん中にあり、おまえを築いた者は、おまえを最高に美しく仕上げた。

27:5 彼らはセニルのもみの木でおまえのすべての船板を作り、レバノンの杉を使って、おまえの帆柱を作った。

27:6 バシヤンの樫の木でおまえの櫂を作り、キティムの島々の檜に象牙をはめ込んで、おまえの甲板を作った。

27:7 エジプトのあや織りの亜麻布が、おまえの帆であり、おまえの旗じるしであった。エリシャの島々からの青色と紫色の布が、おまえの覆いであった。

@エジプト（この世の象徴）が旗印

27:25 タルシシュ船がおまえの商品を運んだ。おまえは大海のただ中で満ちあふれて、大いに栄えた。

27:26 おまえの漕ぎ手はおまえを大海原に連れ出したが、東風が大海のただ中でおまえを打ち破った。

@海の真中で富＝経済活動（お金）がお金を生み出す。

おまえの漕ぎ手＝自分の決断や意志を越えたもの（欲、おごり）が経済をを引っ張る。

大海原＝とり返しがつかないほどの大勝負

打ち破った＝破滅

27節～33節

@黙示録18：15～19の記述に似ている

27:27 おまえの財宝、貨物、商品、おまえの水夫、船員、修繕工、おまえの商品を商う者、おまえの中にいるすべての戦士、おまえの間にいる全集団も、おまえが崩れ落ちる日には大海のただ中に沈んでしまう。

27:28 おまえの船員の叫び声に海辺は身震いする。

27:29 櫂を取る者、水夫、海の船員はみな、船から降りて陸に立ち、

27:30 おまえのために大声をあげて激しく泣き、頭にちりをかぶり、灰の中を転げ回る。

27:31 彼らはおまえのために頭を剃り、粗布をまとい、おまえのために心を痛めて泣き、痛々しく嘆く。

27:32 泣き声をあげて哀歌を歌い、おまえのために悲しんで歌う。だれがツロのように海の真ん中で滅ぼされただろうか。

27:33 諸方の海から得たおまえの貨物が陸揚げされ、おまえは多くの国々の民を満ち足らせた。その豊かな財宝と商品で地の王たちを富ませた。

27:34 おまえが海で打ち破られ、おまえの商品とおまえの全集団が、おまえとともに海の深みに沈むとき、

@株式や外貨に投資をして、損をした場合、そのお金はだれの物にな

るのでしょうか？普通だれかが損をしたら、だれかが得しそうなものです。数年前アジアの通貨がブームとなり、マレーシアやインドネシアの通貨の値段が上がっていました。しかしそれらは一夜のうちに値打ちを失ってしまいました。通貨という積荷は、経済活動という海の底に沈んでしまったのです。

それはもともと通貨にはその価値の裏づけがないからです。

現在インターネットによって一瞬で取引ができます。株や為替で損をしない方法は、値打ちが下がりかけたらすぐに手放すことです。すべての投資家がインターネットで一瞬にして投資を引き上げたらどうなるのでしょうか？

@サタンの描写

28:12 「人の子よ。ツロの王について哀歌を唱えて、彼に言え。【神】である主はこう言われる。あなたは全きものの典型であった。知恵に満ち、美の極みであった。

28:13 あなたは神の園、エデンにいて、あらゆる宝石に取り囲まれていた。赤めのう、トパーズ、ダイヤモンド、緑柱石、縞めのう、碧玉、サファイア、トルコ石、エメラルド。あなたのタンバリンと笛は金で作られ、これらはあなたが創造された日に整えられた。

●赤めのう、トパーズ、ダイヤモンド、

■緑柱石、しまめのう、碧玉、

▲サファイヤ、トルコ玉、エメラルド

28:14 わたしは、油注がれた守護者ケルビムとしてあなたを任命した。あなたは神の聖なる山にいて、火の石の間を歩いていた。

28:15 あなたの行いは、あなたが創造された日から、あなたに不正が見出されるまでは、完全だった。

28:16 あなたの商いが繁盛すると、あなたのうちに暴虐が満ち、こうしてあな

たは罪ある者となった。そこで、わたしはあなたを汚れたものとして神の山から追い出した。守護者ケルビムよ。わたしは火の石の間からあなたを消え失せさせた。

28:17 あなたの心は自分の美しさに高ぶり、まばゆい輝きのために自分の知恵を腐らせた。そこで、わたしはあなたを地に放り出し、王たちの前で見せ物とした。

@タンバリンと笛＝サタンは賛美礼拝者であった

29:3 こう告げよ。【神】である主はこう言われる。エジプトの王ファラオよ、わたしはあなたに敵対する。あなたは、自分の川の中に横たわる巨獣で、『川は私のもの。私がこれを造ったのだ』と言っている。

巨獣で=hattannim (התנים) ◀ 8577. tannin 27 回 ▶へび、竜、巨獣

(改 2)わに

。 巨獣 (Ge1:27)、(改 4)(KJV)蛇(Ex7:9)、(改 4)竜(KJV)dragon(ネヘ 2:13)

@ 神である主 = (へ) YHWH である ADONAI (KJV) God the Lord

@ わに = (へ) hattannim (NKJ)dragon (INT)monster

29:18 「人の子よ。バビロンの王ネブカドネツアルは、ツロに対して自分の軍隊を大いに働かせた。それで、皆の頭ははげ、皆の肩はすりむけた。だが、彼にも彼の軍隊にも、ツロからはその労役に対する報いがなかった。

29:19 それゆえ——【神】である主はこう言われる——わたしはバビロンの王ネブカドネツアルにエジプトの地を与える。彼はその富を取り上げ、物を分捕り、かすめ奪う。それが彼の軍隊への報いとなる。

29:20 彼の働きへの報酬として、わたしは彼にエジプトの地を与える。彼らが

わたしのためにこれを行ったからである——【神】である主のことば。

@クロスへの宣告

(イザヤ 45:3 わたしは秘められている財宝と、ひそかなところに隠された宝をあなたに与える。それは、わたしが【主】であり、あなたの名を呼ぶ者、イスラエルの神であることをあなたが知るためだ。

30:12 わたしはナイル川を干上がらせ、その国を悪人どもの手に売り渡し、その国とそこにあるすべての物を他国人の手によって荒れ果てさせる。【主】であるわたしがこれを語る。」

30:13 【神】である主はこう言われる。「わたしは偶像を滅ぼし、メンフィスから偽りの神々を取り除く。エジプトの地には、もう君主が立たなくなる。わたしはエジプトの地に恐れを臨ませる。

@エジプトの荒廃を宣告

33:1-33:10

33:3 さて、その人が、剣がその地に来るのを見て角笛を吹き鳴らし、民に警告を与えた場合、

33:4 角笛の音を聞いた者が警告を聞き入れないなら、剣が来てその者を討ち取るときに、その血の責任はその者の頭上にある。

33:5 角笛の音を聞きながら警告を聞き入れなければ、その血の責任は彼自身にある。しかし、警告を聞き入れていれば、その者は自分のいのちを救う。

33:6 しかし、見張りが、剣の来るのを見ながら角笛を吹き鳴らさず、そのため民が警告されず、剣が来て彼らの中の一人を討ち取った場合、その者は自分の咎のゆえに討ち取られるが、わたしはその血の責任を見張りに問う。』

33:7 人の子よ、わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとした。あなたは、わたしの口からことばを聞くとき、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。

33:8 わたしが悪しき者に『悪しき者よ、あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もし、あなたがその悪しき者に、その道から離れるように警告しないなら、その悪しき者は自分の咎のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

33:9 あなたが、悪しき者にその道から立ち返るよう警告しても、彼がその道から立ち返らないなら、彼は自分の咎のゆえに死ななければならない。しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。

33:11 彼らにこう言え。『わたしは生きている——【神】である主のことば——。わたしは決して悪しき者の死を喜ばない。悪しき者がその道から立ち返り、生きることを喜ぶ。立ち返れ。悪の道から立ち返れ。イスラエルの家よ、なぜ、あなたがたは死のうとするのか。』

33:18 正しい人でも、自分の正しい行いから離れ、不正を行うなら、彼はそのことのゆえに死ぬ。

33:19 悪しき者でも、自分の悪から離れ、公正と義を行うなら、そのことのゆえに彼は生きる。

33:20 それでも、あなたがたは『主の道は公正でない』と言う。イスラエルの家よ。わたしはあなたがたを、それぞれの生き方にしたがってさばく。」

33:25 それゆえ、彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。あなたがたは血がついたままで食べ、自分たちの偶像を仰ぎ見、人の血を流しているのに、この地を所有しようとするのか。

33:26 あなたがたは自分の剣に拠り頼み、忌み嫌うべきことをし、それぞれ隣人の妻を汚しながら、この地を所有しようとするのか。』

。

33:30 人の子よ。あなたの民の者たちは城壁のそばや家々の戸口で、あなたについてこう語り合っている。『さあ、どんなことばが【主】から出るか聞きに

行こう。』

33:31 彼らは群れをなしてあなたのもとにやってくる。そして、わたしの民はあなたの前に座り、あなたのことばを聞く。しかし、それを実行しようとはしない。彼らは口で甘いことばを語り、心で利得を追っている。

33:32 あなたは彼らにとっては、音楽に合わせて美しく歌う恋の歌のようだ。彼らはあなたのことばを聞くが、それを実行しようとはしない。

33:33 しかし、あのことは起こり、もう来ている。彼らは、自分たちの間に一人の預言者がいたことを知る。」

34:1-23

34:2 「人の子よ、イスラエルの牧者たちに向かって預言せよ。預言して、牧者である彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。わざわざいだ。自分を養っているイスラエルの牧者たち。牧者が養わなければならないのは羊ではないか。

34:8 わたしは生きている——【神】である主のことば——。わたしの羊はかすめ奪われ、牧者がいないために、あらゆる野の獣の餌食となってきた。それなのに、わたしの牧者たちはわたしの羊を捜し求めず、かえって自分自身を養って、わたしの羊を養ってこなかった。

エゼキエル 34:11 まことに、【神】である主はこう言われる。「見よ。わたしは自分でわたしの羊の群れを捜し求め、これを捜し出す。

@ルカ 19:10 人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。」

34:14 わたしは良い牧草地で彼らを養い、イスラエルの高い山々が彼らの牧場となる。彼らはその良い牧場に伏し、イスラエルの山々の肥えた牧草地で

養われる。

牧場 = ◀(N)(A) 5116. naveh 35 回▶

(聖なる)住まい(Ex15:13)、牧場(2サム 7:8)、とどまる(P68:12)
(改 2)おり

34:16 わたしは失われたものを捜し、追いやられたものを連れ戻し、傷ついたものを介抱し、病気のもののかづける。肥えたものと強いものは根絶やしにする。わたしは正しいさばきをもって彼らを養う。

34:23 わたしは、彼らを牧する一人の牧者、わたしのしもべ **ダビデ** を起こす。
彼は彼らを養い、その牧者となる。

34:26 わたしは、彼らにも、わたしの丘の周りにも **祝福** を与え、時にかなって雨を降らせる。それは **祝福** の雨となる。

祝福 (名詞) = バラカ(名詞) ◀ 1293.(הַבְּרָכָה) berakah 69 回▶ 祝福。(google) では「あいさつ

34:28-30

34:31 あなたがたはわたしの羊、わたしの牧場の羊である。あなたがたは人間で、わたしはあなたがたの神である——【神】である主のことば。

36:1 「人の子よ、あなたはイスラエルの **山々に預言せよ**。イスラエルの山々よ、**【主】** のことばを聞け。

@土地に預言した。 主の御業は (土地、民、契約) の回復

@エレミヤ 22:29 地よ、地よ、地よ。主のことばを聞け。

36:12 わたしはおまえたちの上に人を、わたしの民イスラエルを歩かせる。彼

らはおまえを所有し、おまえは彼らの相続地となる。おまえは二度と彼らに子を失わせることはない。

36:13 【神】である主はこう言われる。彼らはおまえたちに、『おまえは人間を食らい、自分の国民に子を失わせている』と言っている。

36:19 わたしは彼らを諸国の間に散らし、彼らを国々に追い散らし、彼らの生き方と行いにしたがって彼らをさばいた。

@イスラエルの民を追い出したのは主ご自身による

36:22 それゆえ、イスラエルの家に言え。【神】である主はこう言われる。イスラエルの家よ。わたしが事を行うのは、あなたがたのためではなく、あなたがたが行った国々の間であなたがたが汚した、わたしの聖なる名のためである。

@人の良い行いのゆえではなく、神の偉大さを示す為

第1列王 20:28 ときに、一人の神の人が近づいて来て、イスラエルの王に言った。「【主】はこう言われる。『アラム人が、【主】は山の神であって低地の神ではない、と言っているの、わたしはこの大いなる軍勢をすべてあなたの手に渡す。そうしてあなたがたは、わたしこそ【主】であることを知る。』」

@敵がののしったゆえ(主ご自身の義を守る為)イスラエルに勝利をもたらした

36:23 わたしは、あなたがたが国々の間で汚したわたしの大いなる名が、聖であることを示す。あなたがたが彼らのただ中で汚した名である。わたしが彼らの目の前に、わたしがあなたがたのうちで聖であることを示すとき、国々は、わたしが【主】であることを知る——【神】である主のことば——。

@聖なることを示すとき = 「(36:24) 諸国の民の間から連れ出し、、、」
諸国の民は、わたしが主であることを知ろう。

36:24 わたしはあなたがたを諸国の間から導き出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。

5:26 キリストがそうされたのは、**みことば**により、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

エゼキエル 36:26 あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。

■エゼキエルでは「新しい霊を与える」であるがエレミヤ書 31 章では「律法を彼らのただ中に置き」です。

つまり、律法とは神の霊です。

■（霊《エレミ 31:33》＝律法《エゼキ 36:27》）を心に置くことによって、神の掟に従い、定めを守って歩むことができる。

エレ 31:33 これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——【主】のことば——。わたしは、わたしの**律法**を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

律法、みおしえ＝◀ 8451. torah 219 回 ▶導き、みおしえ、律法

ロマ 7:6 しかし今は、私たちは自分を縛っていた律法に死んだので、律法から解かれました。その結果、古い文字にはよらず、新しい御霊によって仕えているのです。

ロマ 7:14 私たちは、律法が霊的なものであることを知っています。しかし、私は肉的な者であり、売り渡されて罪の下にある者です。

ロマ 8:4 それは、肉に従わず御霊に従って歩む私たちのうちに、律法の要求が満たされるためなのです。

36:27 わたしの霊をあなたがたのうちに授けて、わたしの掟に従って歩み、わたしの定めを守り行うようにする。

掟 = ◀ 2706. choq 126 回 ▶ 掟。 決められた量 (出エ 5:14)、割り当て(出 29:28)

定め = ◀ 4941. mishpat 421 回 ▶ さばき (エレ 30:11) 公正(Ge18:19) さだめ(Ex21:1)

36:28 あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。

@ 1967年のエルサレムの回復以来メシアニックジューがおこされてきた。

36:32 わたしが事を行うのは、あなたがたのためではない——【神】である主のことば——。そのことをあなたがたは知っていなければならない。イスラエルの家よ、恥じよ。あなたがたの生き方のゆえに辱めを受けよ。」

37:1-14

37:4 主は私に仰せられた。「これらの骨に預言して言え。干からびた骨よ。主のことばを聞け。

エゼ 37:5 【神】である主はこれらの骨にこう言う。見よ。わたしがおまえたちに息を吹き入れるので、おまえたちは生き返る。

息 = ◀ 7307. ruach (רוח) 377 回 ▶ 息、風、霊

37:7 私は、命じられたように預言した。私が預言していると、音がした。な

んと、大きなとどろき。すると、骨と骨とが互いにつながった。

@していると=(別)するとそのとき

@預言していると=預言している只中で主は業を行われた。

37:8 私が見ていると、なんと、その上に筋がつき、肉が生じ、皮膚がその上をすっかりおおった。しかし、その中に息はなかった。

37:9 そのとき、主は言われた。「息に預言せよ。人の子よ、預言してその息に言え。『【神】である主はこう言われる。息よ、四方から吹いて来い。この殺された者たちに吹きつけて、彼らを生き返らせよ。』」

37:10 私が命じられたとおりに預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き返り、自分の足で立った。非常に大きな集団であった。

① 預言(言葉)=水

② 神の息=霊

37:12 それゆえ、預言して彼らに言え。『【神】である主はこう言われる。わたしの民よ、見よ。わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地に連れて行く。

37:13 わたしの民よ。わたしがあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げるとき、あなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

37:14 また、わたしがあなたがたのうちにわたしの霊を入れると、あなたがたは生き返る。わたしはあなたがたを、あなたがたの地に住ませる。このとき、あなたがたは、【主】であるわたしが語り、これを成し遂げたことを知る——【主】のことば。』」

37:15 次のような【主】のことばが私にあった。

37:16 「人の子よ。あなたは一本の杖を取り、その上に『ユダと、それにつくイスラエルの人々のために』と書き記せ。もう一本の杖を取り、その上に『エフライムの杖、ヨセフと、それにつくイスラエルの全家のために』と書き記せ。

37:25 彼らは、わたしがわたしのしもべヤコブに与え、あなたがたの先祖が住んだ地に住むようになる。そこには彼らとその子らとその子孫たちが、とこしえに住み、わたしのしもべダビデが永遠に彼らの君主となる。

38:4 わたしはおまえを引き回し、おまえのあごに鉤をかけ、おまえと、おまえの全軍勢を出陣させる。それはみな完全に武装した馬や騎兵、大盾と盾を持ち、みな剣を取る大集団だ。

ヨエル 3:2 わたしはすべての国々を集め、彼らをヨシャファテの谷に連れ下り、わたしの民、わたしのゆずりイスラエルのために、そこで彼らをさばく。彼らはわたしの民を国々の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分配したのだ。

38:7 備えをせよ。おまえも、おまえのもとに召集された全集団も構えよ。おまえは彼らを統率せよ。

38:8 多くの日が過ぎて、おまえは徴集され、多くの年月の後、おまえは、一つの国に侵入する。そこは剣から立ち直り、多くの国々の民の中から、久しく廢墟であったイスラエルの山々に集められた者たちの国である。その民は国々の民の中から導き出され、みな安らかに住んでいる。

38:11 こう言うだろう。「私は無防備な国に攻め上ろう。安心して暮らす平穩な者たちのところに侵入しよう。彼らはみな城壁もなく住んでいる。かんぬきも門もない」と。

ゼカリア 2:4 彼に言った。「走って行って、あの若い者にこう告げよ。

『エルサレムは、その中に人と家畜があふれ、城壁のない町のように
なる。

38:15 おまえは北の果てのおまえの国から、多くの国々の民とともに来る。彼らはみな馬に乗る者で、大集団、大軍勢だ。

@黙示録では「地の四方」。

黙示録 20:8 地の四方にいる諸国の民を、すなわちゴグとマゴグを惑わすために出て行き、戦いのために彼らを召集する。彼らの数は海の砂のようである。

38:16 おまえはわたしの民イスラエルを攻めに上り、地をおおう雲のようになる。終わりの日に、そのことは起こる。ゴグよ、わたしはおまえに、わたしの地を攻めさせる。それは、わたしがおまえを使って、国々の目の前にわたしが聖であることを示し、彼らがわたしを知るためだ。

38:21 わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる——【神】である主のことば——。剣による同士討ちが起こる。

38:22 わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼とともにいる多くの国々の民の上に豪雨、雹、火、硫黄を降らせる。

38:23 わたしは、わたしが大いなる者であることを示し、わたしが聖であることを示し、多くの国々の見ている前でわたしを知らせる。そのとき彼らは、わたしが【主】であることを知る。」

@硫黄を降らせる

黙示録 20:7 しかし、千年が終わると、サタンはその牢から解き放たれ、

20:8 地の四方にいる諸国の民を、すなわちゴグとマゴグを惑わすために出て行き、戦いのために彼らを召集する。彼らの数は海の砂のよ

うである。

20:9 彼らは地の広いところに上って行き、聖徒たちの陣営と、愛された都を包囲した。すると天から火が下って来て、彼らを焼き尽くした。

20:10 彼らを惑わした悪魔は火と硫黄の池に投げ込まれた。そこには獣も偽預言者もいる。彼らは昼も夜も、世々限りなく苦しみを受ける。

39:9 イスラエルの町々の住民は出て来て、武器、すなわち、盾と大盾、弓と矢、手槍と槍を燃やし、それらで火をおこす。彼らは、七年間それらで火を燃やす。

39:10 彼らは野から薪を運んだり、森から木を切り出したりする必要はない。武器で火を燃やすからだ。彼らは略奪した者たちから略奪し、かすめ奪った者たちからかすめ奪う——【神】である主のことば。

39:11 その日、わたしは、イスラエルのうちに、ゴグのために墓場となる場所を設ける。それは、海の東にある去りゆく者たちのための谷である。そこは通行人の道をふさぐ。そこにゴグと、その大軍すべてが埋められ、そこはハモン・ゴグの谷と呼ばれる。

39:12 七か月間、イスラエルの家は、その地をきよめるために彼らを埋め続ける。

39:13 その国のすべての民が埋める。こうして、わたしの栄光が現されるとき、そのことは彼らにとって名誉となる——【神】である主のことば——。

39:14 すなわち、選り分けられた特定の人々が地を巡り歩き、去りゆく者たち、地の面に取り残されている者たちを埋めて、その地をきよめる。彼らは七か月の終わりまで探し回る。

39:15 巡り歩く者たちは地を巡り歩き、人間の骨を見ると、埋める者たちがそれをハモン・ゴグの谷に埋めるまで、そのそばに標識を立てておく。

39:16 その町の名はハモナとも言われる。こうして彼らは地をきよめる。』

39:17 人の子よ、【神】である主はこう言う。あらゆる種類の鳥と、あらゆる

野の生き物に言え。『集まって来い。わたしがおまえたちのために屠るわたしのいけにえに、イスラエルの山々の上での大いなる祝宴に、四方から集まれ。おまえたちはその肉を食べ、その血を飲め。

39:18 勇士たちの肉を食べ、地の君主たちの血を飲め。雄羊、子羊、雄やぎ、雄牛、それらはすべてバシヤンの肥えたものだ。

39:19 わたしがおまえたちのために屠ったいけにえの中から、脂肪をたらふく食べ、その血を酔うほど飲むがよい。

39:20 おまえたちはわたしの食卓で、馬や騎手、勇士やすべての戦士をたらふく食べる——【神】である主のことば。』

39:21 わたしが国々の間にわたしの栄光を現すとき、国々の民はみな、わたしが行ったわたしのさばきと、わたしが彼らの上に置いたわたしの手を見る。

39:22 その日以降、イスラエルの家は、わたしが彼らの神、【主】であることを知る。

39:23 国々の民は、イスラエルの家がわたしの信頼を裏切った咎のゆえに捕らえ移され、わたしが彼らから顔を隠したこと、また彼らを敵の手に渡したゆえに、彼らがみな剣に倒れたことを知る。

39:24 わたしは彼らの汚れと背きに应じて彼らを罰し、わたしの顔を彼らから隠した。」

39:25 それゆえ、【神】である主はこう言われる。「今、わたしはヤコブを回復させ、イスラエルの全家をあわれむ。これは、わが聖なる名への、わたしの
ねたみによる。

(改2)熱心による

39:26 彼らが自分たちの地に、だれにも脅かされずに安らかに住むとき、彼らは自らの恥辱と、わたしに対するすべての不信との責めを負う。

39:27 わたしが彼らを諸国の民の間から帰らせ、彼らの敵の地から集めるとき、多くの国々が見ている前で、わたしは彼らのうちにわたしが聖であることを示す。

39:28 わたしは彼らを国々に引いて行かせたが、また彼らを彼らの地に集め、
もう国々には一人も残さない。このとき彼らは、わたしが彼らの神、【主】であることを知る。

39:29 わたしは二度と、わたしの顔を彼らから隠すことはない。わたしの霊をイスラエルの家の上に注ぐからである——【神】である主のことば。」

@

<https://harvestwatch.tv/biblestudy/gog-and-magog-war-timing/> からの転載

千年王国後説の問題点

千年王国後説は、ゴグとマゴグの戦いを千年王国後に起こるサタンに対する戦いと同一視するものですが、次の問題点があります。

まず、エゼキエル 38 : 15 では、ゴグとマゴグの軍隊が「北の果て」からイスラエルに攻めてくると言われていますが、千年王国後の戦争について記した黙示録 20 : 8 では、「地の四方」の諸国民がイスラエルに攻めてくると言われています。

また、7か月の埋葬と7年間の武器を燃やす期間が、新天新地（黙示録 21 章）の時代にかかってしまうことも問題点です。

エゼキエル 39:9 イスラエルの町々の住民は出て来て、武器、すなわち、盾と大盾、弓と矢、手槍と槍を燃やし、それらで火をおこす。彼らは、七年間それらで火を燃やす。

エゼキエル 39:12 七か月間、イスラエルの家は、その地をきよめるために彼らを埋め続ける。

黙示録 21 : 1 では「新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り」と言われていますので、この説では聖書の記述と合わなくなります。

@ (yoshi 注) 黙示録を読んでも 7 年の時間がないとはかぎらない。

また、エゼキエル 39 : 22 では、次のように言われています。

22 その日以降、イスラエルの家は、わたしが彼らの神、【主】であることを知る。

この節は、ゴグとマゴグの戦いの描写が終わった後に書かれています。そのため、ゴグとマゴグの戦いの時点では、イスラエルはまだ民族的救いにあずかっていないことがわかります。そのため、イスラエルがすでに民族的な回心をした後である千年王国後説（および移行期説）は、聖書の記述とは合いません。

40:1 私たちが捕囚となって二十五年目の年の初め、その月の十日、都が占領されてから十四年目のちょうどその日に、【主】の御手が私の上であり、私をそこへ連れて行った。

43:1 彼は私を東向きの門に連れて行った。

43:2 すると見よ、イスラエルの神の栄光が東の方から現れた。その音は大水のとどろきのように、地はその栄光で輝いた。

@主の栄光が宮にもどる

44:15 しかし、イスラエルの子らが迷ってわたしから離れたときも、わたしの聖所の任務を果たした、ツアドクの子孫のレビ人の祭司たちは、わたしに近づいてわたしに仕え、わたしの前に立ち、わたしに脂肪と血を献げることができる——【神】である主のことば——。

@ツァドクはアドニアの反逆のときにもソロモンの側についた。(1列1:44)

自分の召しから離れなかった。

44:16 彼らはわたしの聖所に入ることができる。わたしの机に近づいてわたしに仕え、わたしへの務めを果たすことができる。

44:17 彼らは、内庭の門に入るときには、亜麻布の服を着なければならない。内庭の門、および神殿の中で務めをするときは、**毛織物**を身に着けてはならない。

44:23 彼らはわたしの民に、聖なるものと俗なるものとの違いを教え、汚れたものときよいものとの区別を告げ知らせなければならない。

@教えるのは我々の責任

44:28 祭司たちへのゆずりとなるのはこれである。わたしが彼らへのゆずりである。あなたがたはイスラエルの中で彼らに所有地を与えてはならない。わたしが彼らの**所有**である。

所有=(改2)所有地

@神に仕えるものの財産は神自身である。

44:30 あらゆる種類の初物、あなたがたのあらゆる奉納物のうちの最上の奉納物は、すべて祭司たちのものであり、あなたがたの麦粉の初物も祭司に与えなければならない。あなたの家に**祝福**が宿るためである。

祝福 (名詞) =バラカ(名詞) ◀ 1293.(הַבְּרָכָה) berakah 69回▶ 祝福。(google) では「あいさつ

46:2 君主は外側の門の玄関の間を歩いて入り、門の戸口の柱のそばに立つ。祭司たちは彼の全焼のささげ物と、交わりのいけにえを献げ、彼は門の敷居のところで**礼拝する**。それから彼は出て行く。しかし、門は夕暮れまで閉じてはならない。

46:3 民衆も、安息日と新月の祭りの日には、その門の入り口で【主】の前に**礼拝をする**。

46:9 しかし、民衆が例祭の日に【主】の前に入るとき、北の門を歩いて**礼拝****に**来る者は南の門を歩いて出て行き、南の門を歩いて入る者は北の門を歩いて出て行かなければならない。自分が入った門を歩いて帰ってはならない。その反対側から出て行かなければならない。

礼拝 3 = シャハー ◀ 7812. shachah (שחח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) (KJV) (INT)* worship (改 4)*礼拝

47:0 **満ち溢れる栄光**

47:1—10

47:1 彼は私を神殿の入り口に連れ戻した。見ると、水が神殿の敷居の下から東の方へと流れ出ていた。神殿が東に向いていたからである。その水は祭壇の南、神殿の右側の下から流れていた。

47:2 次に、彼は私を北の門から連れ出し、外を回らせ、東向きの外門に行かせた。見ると、水は右側から流れ出ていた。

47:3 その人は手に測り縄を持って東の方に出て行き、千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、それは足首までであった。

@くるぶしまでなら走ったほうが早い。(肉の血からでもある程度は出来る)
@膝までの4節までは自分の意志でコントロールできる。

47:4 彼がさらに千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、水は膝に達した。彼がさらに千キュビトを測り、私を渡らせると、水は腰に達した。

47:5 彼がさらに千キュビトを測ると、水かさが増して渡ることのできない川となった。川は泳げるほどになり、渡ることのできない川となった。

47:6 彼は私に「人の子よ、あなたはこれを見たか」と言って、私を川の岸に連れ帰った。

47:7 私が帰って来て見ると、川の両岸に非常に多くの木があった。

47:8 彼は私に言った。「この水は東の地域に流れて行き、アラバに下って海に入る。海に注ぎ込まれると、その水は良くなる。

47:9 この川が流れて行くどこでも、そこに群がるあらゆる生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる。この水が入ると、その水が良くなるからである。この川が入るところでは、すべてのものが生きる。

48:31 町の門にはイスラエルの部族の名がつけられている。北側の三つの門は、ルベンの門一つ、ユダの門一つ、レビの門一つ。

エゼ 48:35 町の周囲は一万八千キュビト。この町の名は、その日から『【主】はそこにおられる』となる。」